

学校運営協議会委員の推薦について

平成28年2月23日付教育委員会規則第1号「千代田区立学校における学校運営協議会に関する規則」第6条に基づき、地域協働学校に指定した千代田区立学校から提出された学校運営協議会委員の推薦状況を別紙のとおり報告します。



千代田区教育委員会教育委員長 殿

千代田区立麴町小学校  
校長 山田 茂利  
(公印省略)

学校運営協議会委員の推薦について

このことについて、以下のとおり推薦いたします。

番号	氏名	構成番号	所属団体・肩書	謝礼
1	大谷 浩文	1	麴町小学校PTA会長	有
2	笠井 清純	2	麴町出張所地区連合町会長	有
3	宮田 京子	2	民生児童委員（主任児童委員）	有
4	小田 晃	2	保護士	有
5	谷 眞理子	3-②	ワークわくクラブ代表、旧麴町小卒業生、元PTA会長	有
6	村田 直子	3-②	麴町小学校元PTA会長 同窓会（ガラスの森の会）世話人 旧永田町小卒業生	有
7	二木 真智子	3-③	麴町幼稚園PTA会長	有
8	上山 敏	4	学識経験者	有
9	山田 茂利	5	麴町小学校・幼稚園 校（園）長	無
10				

注1) 協議会委員の人数は、小学校では原則として10名以内。中学校では15名以内。

注2) 構成番号欄は、以下の該当する番号を記入。

1 = 当該指定学校に在籍する児童・生徒の保護者

2 = 当該指定学校の所在する地域の住民

3 = 当該指定学校の学校関係者（学校関係者とは、次の者をいう。）

① 当該指定学校の教職員

② 当該指定学校の卒業生で、20歳以上の者

③ 当該指定学校の通学区域に住所を有する当該校に翌学年から就学予定の幼児（中学校の場合は児童）の保護者

4 = 学識経験者

5 = 当該指定学校の校長

6 = 上記1から5に掲げる者以外の者

注3) 所属団体・肩書欄は、選出にあたり考慮した所属団体・肩書を記入（例：PTA会長、○○地区青少年育成委員会委員、○○町会長、○○大学教授等）。

注4) 謝礼欄は、謝礼の支払い対象者には「有」、対象でない者（当該指定学校の教職員等）には「無」を記入。



平成29年度 千代田区立麴町小学校 学校運営協議会委員【学識経験者】

## 上山 敏先生（大妻女子大学 教授）

### ○経歴

東京学芸大学大学院 教育学研究科 理科教育専攻修了。

都立高等学校 教諭（理科（生物））

昭島市教育委員会・東京都教育庁指導部 指導主事

東京都教職員研修センター研修部統括指導主事・課長

都立高校長

大妻女子大学 社会情報学部准教授

大妻女子大学 家政学部児童学科准教授

大妻女子大学 教職総合支援センター准教授

大妻女子大学 教職総合支援センター所長・教授

### ○所属学会

日本植物学会 日本藻類学会 日本ケイ藻学会

日本生物教育学会 日本教育制度学会 CIEC（コンピュータ利用教育協議会）

現在、千代田区立麴町小学校「健全育成サポート会議」委員

千代田区教育委員会教育委員長 殿

千代田区立九段小学校  
校長 鈴村 邦夫  
(公印省略)

学校運営協議会委員の推薦について

このことについて、以下のとおり推薦いたします。

番号	氏名	構成番号	所属団体・肩書	謝礼
1	久保寺 健郎	1	九段小学校PTA会長	有
2	大原 麻有子	1	さつき会(幼稚園PTA)会長	有
3	田中 康博	2	三番町町会長	有
4	杉田 宗一	2	四番町町会長	有
5	杉本 昭子	2	元人権擁護委員	有
6	坂口 純子	2	主任児童委員	有
7	上村 友子	2	民生児童委員	有
8	渋谷 許晴	2	九段四丁目町会青年会	有
9	木田 昌宏	3-②	九段小学校同窓会長	有
10	矢野 博之	4	大妻女子大学教授	有
11	鈴村 邦夫	5	九段小学校・幼稚園校園長	無
12				
13				
14				
15				

注1) 協議会委員の人数は、小学校では原則として10名以内。中学校では15名以内。

注2) 構成番号欄は、以下の該当する番号を記入。

- 1 = 当該指定学校に在籍する児童・生徒の保護者
- 2 = 当該指定学校の所在する地域の住民
- 3 = 当該指定学校の学校関係者(学校関係者とは、次の者をいう。)
  - ① 当該指定学校の教職員
  - ② 当該指定学校の卒業生で、20歳以上の者
  - ③ 当該指定学校の通学区域に住所を有する当該校に翌学年から就学予定の幼児(中学校の場合は児童)の保護者
- 4 = 学識経験者
- 5 = 当該指定学校の校長
- 6 = 上記1から5に掲げる者以外の者

注3) 所属団体・肩書欄は、選出にあたり考慮した所属団体・肩書を記入(例: PTA会長、〇〇地区青少年育成委員会委員、〇〇町会長、〇〇大学教授等)。

注4) 謝礼欄は、謝礼の支払い対象者には「有」、対象でない者(当該指定学校の教職員等)には「無」を記入。



平成29年度 千代田区立九段小学校 学校運営協議会委員【学識経験者】

## 矢野 博之 先生（大妻女子大学 教授）

### ○経歴

神戸大学大学院 教育学研究科 社会科教育学専攻修了  
東京大学大学院 教育学研究科 学校教育学専攻修了  
東京大学大学院 教育学研究科 総合教育科学専攻博士課程満期単位取得退学  
大妻女子大学 家政学部 児童学科 専任講師  
大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授  
大妻女子大学 家政学部 児童学科 教授

### ○専門分野

教師教育学、学校教育学、教育方法学

### ○主な研究テーマ

教職の専門性の発達と研修方法（リフレクションや専門知研究の活用）  
部活動の社会学的研究  
ICTの学校教育論的／学習科学論的意義と活用

### ○所属学会

日本教師教育学会 事務局長、同 常任理事 日本教育学会 日本教育社会学会  
学習分析学会 全国社会科教育学会 日本社会科教育学会

千代田区教育委員会教育委員長 殿

千代田区立番町小学校  
校長 額賀 聡  
(公印省略)

学校運営協議会委員の推薦について

このことについて、以下のとおり推薦いたします。

番号	氏名	構成番号	所属団体・肩書	謝礼
1	大沼英之	1	愛育会 (PTA) 会長	有
2	田村典代	1	愛育会 (PTA) 運営委員	有
3	横山義文	2	五番町町会長、民生児童委員	有
4	新井巖	2	六番町町会長	有
5	竹川真紀	2	青少年委員	有
6	瀬谷達郎	3-②	青少年委員	有
7	小松一枝	3-②	保護司	有
8	佐々木俊治	4	内科校医	有
9	内河英臣	6	人権擁護委員	有
10	額賀聡	5	校長	無
11				
12				
13				
14				
15				

注1) 協議会委員の人数は、小学校では原則として10名以内。中学校では15名以内。

注2) 構成番号欄は、以下の該当する番号を記入。

- 1 = 当該指定学校に在籍する児童・生徒の保護者
- 2 = 当該指定学校の所在する地域の住民
- 3 = 当該指定学校の学校関係者 (学校関係者とは、次の者をいう。)
  - ① 当該指定学校の教職員
  - ② 当該指定学校の卒業生で、20歳以上の者
  - ③ 当該指定学校の通学区域に住所を有する当該校に翌学年から就学予定の幼児 (中学校の場合は児童) の保護者
- 4 = 学識経験者
- 5 = 当該指定学校の校長
- 6 = 上記1から5に掲げる者以外の者

注3) 所属団体・肩書欄は、選出にあたり考慮した所属団体・肩書を記入 (例: PTA会長、〇〇地区青少年育成委員会委員、〇〇町会長、〇〇大学教授等)。

注4) 謝礼欄は、謝礼の支払い対象者には「有」、対象でない者 (当該指定学校の教職員等) には「無」を記入。



平成29年度 千代田区立番町小学校 学校運営協議会委員【学識経験者】

## 佐々木 俊 治（ささき しゅんじ）先生

- 内科・呼吸器内科・消化器内科・小児科 医師
- 番町小学校校医・番町幼稚園園医
- 千代田区医師会副会長
- 千代田区学校結核対策委員会委員
- 千代田区介護保険認定審査会委員
- 東京都医師会予備代議員
- 千代田区ジョブサポートプラザ顧問

千代田区教育委員会教育委員長 殿

千代田区立富士見小学校  
校長 山下 理恵  
(公印省略)

学校運営協議会委員の推薦について

このことについて、以下のとおり推薦いたします。

番号	氏名	構成番号	所属団体・肩書	謝礼
1	高橋 徹	1	PTA 会長	有
2	向笠 滋	2	富士見地区長会連合会長	有
3	植田 修平	2	青少年委員	有
4	平井 由紀子	2	人権擁護委員	有
5	吉澤 文子	3-②	民生児童委員	有
6	守屋 秀徳	3-②	同窓会会長	有
7	木ノ島 希久子	3-②	保護司	有
8	石井 雅幸	4	大妻女子大学 教授	有
9	山下 理恵	5	富士見小学校長	無
10				
11				
12				
13				
14				
15				

注1) 協議会委員の人数は、小学校では原則として10名以内。中学校では15名以内。

注2) 構成番号欄は、以下の該当する番号を記入。

- 1 = 当該指定学校に在籍する児童・生徒の保護者
- 2 = 当該指定学校の所在する地域の住民
- 3 = 当該指定学校の学校関係者（学校関係者とは、次の者をいう。）
  - ① 当該指定学校の教職員
  - ② 当該指定学校の卒業生で、20歳以上の者
  - ③ 当該指定学校の通学区域に住所を有する当該校に翌学年から就学予定の幼児（中学校の場合は児童）の保護者

4 = 学識経験者

5 = 当該指定学校の校長

6 = 上記1から5に掲げる者以外の者

注3) 所属団体・肩書欄は、選出にあたり考慮した所属団体・肩書を記入（例：PTA会長、〇〇地区青少年育成委員会委員、〇〇町会長、〇〇大学教授等）。

注4) 謝礼欄は、謝礼の支払い対象者には「有」、対象でない者（当該指定学校の教職員等）には「無」を記入。



## 石井 雅幸 先生(大妻女子大学家政学部児童学科教授)

### 【経歴】

東京学芸大学教育学部初等教育教員養成課程理科卒業  
東京学芸大学大学院教育学研究科理科教育専攻修了  
東京都立学校教員(含九段小学校) 教諭  
大妻女子大学家政学部児童学科非常勤講師 理科教育  
大妻女子大学家政学部児童学科 准教授

### 【主な著書】

- ・新しい理科教育の理論と実践の方法 奥井智久 監修 角屋重樹 編集 現代教育社(2003)
- ・これからの理科研究授業 小学校高学年編・中学年編 角屋重樹・福田章人 編集 明治図書(2003)
- ・小学校理科の単元展開と評価 角屋重樹 監修 文溪堂,(2004)
- ・小学校 理科の学ばせ方・教え方事典 角屋重樹、林四郎、石井雅幸 編 教育出版(2005)

### 【論文】

- ・新しい理科教育の理論と実践の方法 奥井智久 監修 角屋重樹 編集 現代教育社(2003)
- ・これからの理科研究授業 小学校高学年編・中学年編 角屋重樹・福田章人 編集 明治図書(2003)
- ・小学校理科の単元展開と評価 角屋重樹 監修 文溪堂,(2004)
- ・小学校 理科の学ばせ方・教え方事典 角屋重樹、林四郎、石井雅幸 編 教育出版(2005)

千代田区教育委員会教育委員長 殿

千代田区立 お茶の水小学校  
校長 浅川 宏  
(公印省略)

学校運営協議会委員の推薦について

このことについて、以下のとおり推薦いたします。

番号	氏名	構成番号	所属団体・肩書	謝礼
1	山崎 充彦	1	お茶の水小学校・幼稚園児童保護会会長	有
2	幼稚園代表	1	お茶の水幼稚園代表	有
3	石澤 長一郎	2	神保町地区町会連合会会長	有
4	渡邊 圭一	2	神田猿楽町会長	有
5	小林 貞夫	2	剣友会会長	有
6	矢嶋 久雄	2	お茶の水スリーアローズ監督	有
7	水野 智佳子	2	神田地区主任児童委員	有
8	影山 純子	2	保護司	有
9	柿内 健介	2	お茶の水地区青少年委員	有
10	高山 肇	3-②	錦華小学校同窓会長	有
11	角谷 幹夫	3-②	小川小学校同窓会長	有
12	西角 邦夫	3-②	西神田小学校同窓会長	有
13	須賀 雄一郎	3-②	お茶の水小学校・幼稚園児童保護会顧問	有
14	村上みな子	4	帝京大学大学院 准教授	有
15	浅川 宏	5	お茶の水小学校長・幼稚園長	無

注1) 協議会委員の人数は、小学校では原則として10名以内。中学校では15名以内。

注2) 構成番号欄は、以下の該当する番号を記入。

- 1 = 当該指定学校に在籍する児童・生徒の保護者
- 2 = 当該指定学校の所在する地域の住民
- 3 = 当該指定学校の学校関係者（学校関係者とは、次の者をいう。）
  - ① 当該指定学校の教職員
  - ② 当該指定学校の卒業生で、20歳以上の者
  - ③ 当該指定学校の通学区域に住所を有する当該校に翌学年から就学予定の幼児（中学校の場合は児童）の保護者
- 4 = 学識経験者
- 5 = 当該指定学校の校長
- 6 = 上記1から5に掲げる者以外の者

注3) 所属団体・肩書欄は、選出にあたり考慮した所属団体・肩書を記入（例：PTA会長、〇〇地区青少年育成委員会委員、〇〇町会長、〇〇大学教授等）。

注4) 謝礼欄は、謝礼の支払い対象者には「有」、対象でない者（当該指定学校の教職員等）には「無」を記入。



## 村上 みな子先生（帝京大学大学院教職大学院 准教授）

### ○経歴・所属学会・専門分野・研究テーマ

#### 【経歴】

日本体育大学 体育学部体育学科卒業  
北区立中・台東区立中 教諭  
板橋区教育委員会 指導主事  
東京都教職員研修センター 統括指導主事  
千代田区立一橋中、神田一橋中、麴町中学校 校長  
千代田区立教育研究所 教育研究専門員  
日本体育大学 教職教育 非常勤講師

#### 【専門分野】 体育科教育・学校経営

#### 【研究テーマ】

「運動の特性や課題を明確にした指導と評価」  
「合同運動部活動の提案と運動部活動の運営課題について」  
「管理職に求められる資質・能力」

#### 【職務上の実績】

2003年 文部省運動部活動作成委員会委員  
2007年 ～2010年 第4期・第5期中央教育審議会スポーツ青少年分科会 臨時委員  
2008年 全日本中学校長会 事業部長・全国女性校長会 理事  
2009年 ～2010年 東京都中学校女性校長会 会長・東京都中学校長会 副会長  
2010年 東京都学校保健会 理事  
2011年 東京都千代田区学校保健会 会長  
2009年 ～2010年 東京都中学校清和会（管理職育成団体）会長  
2008年 ～2010年 東京都保健体育科研究会 会長

### ○著書・論文

「逆境のメリット」 校舎改築の課題と人材育成  
2012年01月 | 東研情報「小・中学校の学校経営」  
「武道」必修に期待する  
2010年10月 | 日本武道館 月刊誌「武道」  
観点別学習状況の新評価基準表  
2003年09月 | 図書文化

千代田区教育委員会教育委員長 殿

千代田区立 千代田 小学校  
校長 浅岡 寿郎  
(公印省略)

学校運営協議会委員の推薦について

このことについて、以下のとおり推薦いたします。

番号	氏名	構成番号	所属団体・肩書	謝礼
1	丸木 雄介	1	千代田小学校同窓会長（保護者）	有
2	横田 達之	2	神田公園地区連合会長	有
3	池田 和夫	2	神田駅東連合会長	有
4	佐藤 祐子	2	主任児童委員	有
5	高橋紀代子	2	民生・児童委員	有
6	佐藤 健一	2	民生・児童委員	有
7	村田 和美	2	民生・児童委員	有
8	中村 あけみ	2	学校開放アドバイザー	有
9	大井 孝一	3-②	神田小学校同窓会長	有
10	葛西 充	3-②	千桜小学校校友会会長	有
11	高柳 信三郎	3-②	神龍小学校同窓会副会長	有
12	坂井 重正	3-②	神田さくら館コミュニティースクール 企画運営委員長	有
13	佐藤 淳司	3-②	青少年委員	有
14	神山 安弘	4	専修大学特任教授	有
15	浅岡 寿郎	5	千代田小学校 校長	無

注1) 協議会委員の人数は、小学校では原則として10名以内。中学校では15名以内。

注2) 構成番号欄は、以下の該当する番号を記入。

1 = 当該指定学校に在籍する児童・生徒の保護者

2 = 当該指定学校の所在する地域の住民

3 = 当該指定学校の学校関係者（学校関係者とは、次の者をいう。）

① 当該指定学校の教職員

② 当該指定学校の卒業生で、20歳以上の者

③ 当該指定学校の通学区域に住所を有する当該校に翌学年から就学予定の幼児（中学校の場合は児童）の保護者

4 = 学識経験者

5 = 当該指定学校の校長

6 = 上記1から5に掲げる者以外の者

注3) 所属団体・肩書欄は、選出にあたり考慮した所属団体・肩書を記入（例：PTA会長、〇〇地区青少年育成委員会委員、〇〇町会長、〇〇大学教授等）。

注4) 謝礼欄は、謝礼の支払い対象者には「有」、対象でない者（当該指定学校の教職員等）には「無」を記入。



平成29年度 千代田区立千代田小学校 学校運営協議会委員【学識経験者】

## 神山 安弘先生（専修大学 特認教授）

### ○経 歴

東京都公立小学校教員  
文京区教育委員会・東京都教育委員会 指導主事  
大田区教育委員会 指導室長  
墨田区立堤小・江東区立東陽小学校 校長  
江東区立明治小学校 統括校長  
専修大学文学部 特認教授

### ○研 究

文部科学省 小学校教員資格認定試験企画委員  
全国学力・学習状況調査の分析・活用の推進に関する専門家検討会議委員  
教科用図書検定調査審議会臨時委員（社会科）

教育学（教育学（学校経営のあり方、管理職・教員の育成、臨床学校学）

社会科教育（思考力・判断力・表現力の育成、お雇い外国人の教材化、社会科の問題解決的な学習の実践化）

### ○表彰等

平成23年度 文部科学大臣教育者表彰

千代田区教育委員会教育委員長 殿

千代田区立 昌平小学校  
校長 勝又 正之  
(公印省略)

学校運営協議会委員の推薦について

このことについて、以下のとおり推薦いたします。

番号	氏名	構成番号	所属団体・肩書	謝礼
1	小島 永孝	1	PTA会長	有
2	大澤 慎太郎	1	昌平幼稚園PTA会長	有
3	大塚 實	2	須田町一丁目中部町会長	有
4	作道 泰明	2	栄町会長	有
5	新井 美智子	2	民生・児童委員	有
6	田中 文代	2	万世橋地区青少年委員	有
7	松井 千恵子	2	万世橋地区青少年委員	有
8	佐藤 祐子	2	千代田区主任児童委員	有
9	丸尾 弘一	3-②	昌平子ども会 代表	有
10	堀田 健二	3-②	鷺友会代表 (同窓会)	有
11	土屋 十二	4	聖徳大学 教授	有
12	勝又 正之	5	千代田区立昌平幼稚園小学校校園長	無
13				
14				
15				

注1) 協議会委員の人数は、小学校では原則として10名以内。中学校では15名以内。

注2) 構成番号欄は、以下の該当する番号を記入。

- 1 = 当該指定学校に在籍する児童・生徒の保護者
- 2 = 当該指定学校の所在する地域の住民
- 3 = 当該指定学校の学校関係者 (学校関係者とは、次の者をいう。)
  - ① 当該指定学校の教職員
  - ② 当該指定学校の卒業生で、20歳以上の者
  - ③ 当該指定学校の通学区域に住所を有する当該校に翌学年から就学予定の幼児 (中学校の場合は児童) の保護者

4 = 学識経験者

5 = 当該指定学校の校長

6 = 上記1から5に掲げる者以外の者

注3) 所属団体・肩書欄は、選出にあたり考慮した所属団体・肩書を記入 (例: PTA会長、〇〇地区青少年育成委員会委員、〇〇町会長、〇〇大学教授等)。

注4) 謝礼欄は、謝礼の支払い対象者には「有」、対象でない者 (当該指定学校の教職員等) には「無」を記入。



平成29年度 千代田区立昌平小学校 学校運営協議会委員【学識経験者】

## 土屋 十二先生（聖徳大学 教授）

### ○経歴

静岡大学 教育学部 卒業。

葛飾区公立学校 千代田区立今川小学校 千代田区立番町小学校

足立区教育委員会・東京都教育庁体育部体育健康指導課 指導主事

江戸川区立鹿骨東小学校 校長

北区教育委員会学校教育部指導室長

千代田区立昌平小学校校長・昌平幼稚園長

聖徳大学 児童学部教授

千代田区教育委員会教育委員長 殿

千代田区立和泉小学校  
校長 中村 裕子  
(公印省略)

学校運営協議会委員の推薦について

このことについて、以下のとおり推薦いたします。

番号	氏名	構成番号	所属団体・肩書	謝礼
1	横島 克典	1	PTA会長	有
2	山本 健	1	PTA副会長	有
3	山口 弘一	2	岩本町東神田町会連合会会長	有
4	小野田 文紀	2	秋葉原東部町会連合会会長	有
5	木村 由香	2	校区青少年委員	有
6	尾花 美恵子	2	民生・児童委員	有
7	宮澤 藤男	3-②	PTA顧問代表	有
8	坪井 秀一	3-②	学校医	有
9	後藤 忠	4	元玉川大学 教授	有
10	中村 裕子	5	校長	無
11				
12				
13				
14				
15				

注1) 協議会委員の人数は、小学校では原則として10名以内。中学校では15名以内。

注2) 構成番号欄は、以下の該当する番号を記入。

- 1 = 当該指定学校に在籍する児童・生徒の保護者
- 2 = 当該指定学校の所在する地域の住民
- 3 = 当該指定学校の学校関係者（学校関係者とは、次の者をいう。）
  - ① 当該指定学校の教職員
  - ② 当該指定学校の卒業生で、20歳以上の者
  - ③ 当該指定学校の通学区域に住所を有する当該校に翌学年から就学予定の幼児（中学校の場合は児童）の保護者
- 4 = 学識経験者
- 5 = 当該指定学校の校長
- 6 = 上記1から5に掲げる者以外の者

注3) 所属団体・肩書欄は、選出にあたり考慮した所属団体・肩書を記入（例：PTA会長、

〇〇地区青少年育成委員会委員、〇〇町会長、〇〇大学教授等）。

注4) 謝礼欄は、謝礼の支払い対象者には「有」、対象でない者（当該指定学校の教職員等）には「無」を記入。



平成29年度 千代田区立和泉小学校 学校運営協議会委員【学識経験者】

## 後藤 忠先生（玉川大学 元教授）

### ○経歴

玉川学園久志高等学校 教諭

墨田区立錦糸小学校 教諭

多摩市教育委員会・東京都教育庁指導部 指導主事

国立市立国立第一小学校・千代田区立和泉小学校・府中市立府中第四小学校 校長

玉川大学 教師教育リサーチセンター教職サポートチーム教授

### ○専門分野

道德教育

### ○研究歴等

東京都小学校道德教育研究会会長

道德指導研究会会長

千代田区心の教育 コーディネーター

千代田区教育委員会教育委員長 殿

千代田区立趣町中学校  
校長 工藤 勇一  
(公印省略)

## 千代田区立学校における地域協働学校運営協議会委員の推薦について

このことについて、以下のとおり推薦いたします。

番号	氏名	構成番号	所属団体・肩書	謝礼
1	木村 雅俊	1	PTA 会長	有
2	菱沼 かや	1	PTA 副会長	有
3	木村 由香	1	PTA 副会長	有
4	神原 美由紀	1	PTA 副会長	有
5	山口 光弘	2	平河町二丁目町会・前町会長	有
6	鈴木 誠	2	趣町中学校 学校運営事業支援者	有
7	満処 道昭	2	青少年委員	有
8	水野 珠貴	2	青少年委員	有
9	宮田 京子	2	主任児童委員	有
10	瀬谷 達郎	2	青少年委員・前PTA会長	有
11	生駒 純典	3-②	同窓会幹事長	有
12	中邑 賢龍	4	東京大学先端科学技術研究センター 教授	有
13	勝野 正章	4	東京大学大学院学校教育学研究科 教授	有
14	太田 雅之	6	番町小学校愛育会・元会長	有
15	工藤 勇一	5	校長	無

注1) 協議会委員の人数は、小学校では10名以内。中学校では15名以内。

注2) 構成番号欄は、以下の該当する番号を記入。

1 = 当該指定学校に在籍する児童・生徒の保護者

2 = 当該指定学校の所在する地域の住民

3 = 当該指定学校の学校関係者（学校関係者とは、次の者をいう。）

① 当該指定学校の教職員

② 当該指定学校の卒業生で、20歳以上の者

③ 当該指定学校の通学区域に住所を有する当該校に翌学年から就学予定の幼児  
(中学校の場合は児童)の保護者

4 = 学識経験者

5 = 当該指定学校の校長

6 = 上記1から5に掲げる者以外の者

注3) 所属団体・肩書欄は、選出にあたり考慮した所属団体・肩書を記入（例：PTA会長、  
○○地区青少年育成委員会委員、○○町会長、○○大学教授等）。注4) 謝礼欄は、謝礼の支払い対象者には「有」、対象でない者（当該指定学校の教職員等）  
には「無」を記入。

平成29年度 千代田区立麹町中学校 学校運営協議会委員【学識経験者】

なかむら けんりゅう  
中邑 賢龍先生（東京大学先端科学技術研究センター教授）

○経歴

香川大学教育学部助教授  
カンザス大学・ウィスコンシン大学客員研究員  
ダンディ大学客員研究員

○専門分野

- 発達障害、不登校生徒への支援、人間支援工学
- ・発達障害等に対して ICT（情報コミュニケーション技術）等による援助  
障害のために読み書きができない子供が高等教育機関に入れるような仕組み
  - ・DO-IT Japan プログラム  
障害や病気のある小中校生・大学生の高等教育への進学とその後の就労への移行支援
  - ・異彩発掘プロジェクト（ROCKET）  
突出した能力はあるが、現状の教育環境になじめず不登校傾向にある小・中学生を選抜し、継続的な学習保障及び生活のサポートを提供

かつの まさあき  
勝野 正章先生（東京大学大学院学校教育研究科 教授）

○経歴

北星学園大学講師  
お茶の水女子大学助教授  
東京大学大学院教育学研究科准教授

○専門分野

- 学校開発政策・学校経営・教育政策
- ・学校教育の高度化に関する研究
  - ・教育政策、制度、行財政及び経営的観点からの研究  
また、同領域を担う研究者・教育実践者（教育行政職員・学校管理職、等）の育成
  - ・質の高い学校経営の推進に係る調査研究
  - ・学校の教育システムの実情と問題、政策課題に係る調査研究
  - ・教員の学び合いを支える学校内・学校間ネットワークの構築

28千神中発第122号  
平成29年 2月24日

千代田区教育委員会教育委員長 殿

千代田区立 神田一橋 中学校  
校長 太田 耕司  
(公印省略)

## 学校運営協議会委員の推薦について

このことについて、以下のとおり推薦いたします。

番号	氏名	構成番号	所属団体・肩書	謝礼
1	柿内 健介	1	PTA会長	有
2	山下 朋子	1	PTA副会長(3年)	有
3	大橋 浩美	1	PTA副会長(2年)	有
4	松澤 真弓	1	PTA副会長(1年)	有
5	小野田 文紀	2	秋葉原東部町会連合会会長(6地区輪番)	有
6	木曾 小百合	2	青少年委員(神田一橋中選出)	有
7	水野 智佳子	2	主任児童委員	有
8	佐藤 祐子	2	主任児童委員	有
9	佐久間 保夫	3-②	一橋中学校同窓会会長	有
10	保志場 宏	3-②	今川中学校同窓会会長	有
11	久保田 富三郎	3-②	練成中学校同窓会会長	有
12	中山 幸裕	3-②	東京商工会議所千代田支部	有
13	上山 敏	4	大妻女子大学教授	有
14	原 克彦	4	目白大学教授	有
15	太田 耕司	5	校長	無

注1) 協議会委員の人数は、小学校では10名以内。中学校では15名以内。

注2) 構成番号欄は、以下の該当する番号を記入。

1 = 当該指定学校に在籍する児童・生徒の保護者

2 = 当該指定学校の所在する地域の住民

3 = 当該指定学校の学校関係者(学校関係者とは、次の者をいう。)

① 当該指定学校の教職員

② 当該指定学校の卒業生で、20歳以上の者

③ 当該指定学校の通学区域に住所を有する当該校に翌学年から就学予定の幼児  
(中学校の場合は児童)の保護者

4 = 学識経験者

5 = 当該指定学校の校長

6 = 上記1から5に掲げる者以外の者

注3) 所属団体・肩書欄は、選出にあたり考慮した所属団体・肩書を記入(例: PTA会長、  
○○地区青少年育成委員会委員、○○町会長、○○大学教授等)。注4) 謝礼欄は、謝礼の支払い対象者には「有」、対象でない者(当該指定学校の教職員等)  
には「無」を記入。

平成29年度 千代田区立神田一橋中学校 学校運営協議会委員【学識経験者】

## 上山 敏先生（大妻女子大学 教授）

### ○経歴

東京学芸大学大学院 教育学研究科 理科教育専攻修了。  
都立高等学校 教諭（理科（生物））  
昭島市教育委員会・東京都教育庁指導部 指導主事  
東京都教職員研修センター研修部統括指導主事・課長  
都立高校長  
大妻女子大学 社会情報学部准教授  
大妻女子大学 家政学部児童学科准教授  
大妻女子大学 教職総合支援センター准教授  
大妻女子大学 教職総合支援センター所長・教授

### ○所属学会

日本植物学会 日本藻類学会 日本ケイ藻学会  
日本生物教育学会 日本教育制度学会 CIEC（コンピュータ利用教育協議会）

## 原 克彦先生（目白大学 教授）

### ○経歴

尼崎市立杭瀬小学校 教諭  
尼崎市立教育総合センター 教育工学係 指導主事  
尼崎市教育委員会事務局 総務部総務課企画係指導主事  
鳴門教育大学・学校教育研究センター 客員研究員  
園田学園女子大学 情報教育センター 講師（主幹兼務）  
園田学園女子大学情報教育センター 助教授（主幹兼務）  
目白大学 人間社会学部 メディア表現学科 教授

### ○専門分野

情報教育、教育工学

### ○主な研究テーマ

小学校段階からの情報教育の内容と教材の開発、  
発達段階に応じた情報モラルの内容と指導法、  
日常的な e-learning のためのシステムと教材開発、  
教育の情報化に必要な教員の情報活用能力 など

### ○所属学会

日本教育工学協会会長 日本教育工学会監事  
他、県内外のコンピュータ利用教育に関する各種委員、  
情報基盤整備に関する審議委員等